



記号 Legend

活断層	—	新断層、谷の屈曲や尾根の屈曲など各種の活断層の地形が明確で、位置が確かなもの。
活断層(位置やや不明確)	- - -	活断層の地形が、侵食や堆積作用、あるいは人工的な要因で改変されたため、位置及び延長が明確には特定できないもの。
活断層(活拗曲)	—	変位がやわらかい地層内でひずり、地表には崖(段差)ではなく「たわみ」として現れたもの。たわみの範囲を示す。
活断層(伏在部)	⋯⋯⋯	新たな地層(扇状地堆積物、沖積層などに被覆され、変位を示す地形が直接現れていないもの。
活断層(伏在活拗曲)(位置不明確)	□□□	新しい地層に覆われて、断層地形が地表で確認されていないが、物理探査などによりその存在が確認されているもの。ボーリングなどにより断層の直接的な確認が行われていないため、その位置は不明確。地下の堆積物(沖積層)には「たわみ」が形成。
推定活断層	- - -	活断層の存在が推定されるが、現時点では変位地形やその変位基準の年代が明確には特定できないもの。
縦ずれ	↑↑↑	活断層の動きに伴う上下方向の変位の向き、相対的に低下している側に短線を付す。
変位した谷線	—	活断層の横ずれ活動により変位した谷線。
変位した段丘崖	—	活断層の横ずれ活動により変位した段丘崖。
活断層露頭	○	活断層露頭(破砕帯を含む)。
ボーリング地点	●	活断層位置を推定した重要なボーリング地点。
トレンチ調査地点	□	活断層の通過地点にトレンチ(溝)を掘り、断層運動の解読調査を行った地点。
反射法弾性波探査	—	反射法弾性波探査を実施した測線。

この図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料D1-No.368 都市圏活断層図 徳島、地田、伊予三島、及び技術資料D1-No.524 都市圏活断層図 川島(第2版)、脇町(第2版)を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第77号 平成24年6月15日)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平24情復、第255号 平成24年7月31日)

